

英語表現音読コンテストに関するご案内

椋山女学園大学外国語学部
英語表現音読コンテスト実行委員会

○ 当日の持ち物

代表者：本メールを提示できる電子端末（例：スマートフォン）、所属学校の生徒手帳
代表者以外の出場予定者：所属学校の生徒手帳

○ 観覧者について ***すでに Google Forms は閉鎖しています。観覧者の申し込みも終了しました。**

出場者のご家族ご友人、学校の先生等のご観覧を歓迎します。メール本文の GoogleForms のリンクより氏名および出場予定者との関係（例：保護者、教師、友人）をご入力ください。ただし、会場となる教室には定員の上限がありますので、希望者多数の場合は別教室での中継映像のご視聴をお願いすることがあります。会場となる教室には申込の先着順でご案内します。なお、事前に申込のない観覧希望者の入場は原則としてお断りします。

○ ご来学

会場：椋山女学園大学星ヶ丘キャンパス情報社会学部メディア棟、外国語学部棟。

アクセス：地下鉄東山線星ヶ丘駅6番出口より南（左手）へ徒歩5分。両脇に星ヶ丘テラスを臨む坂道を上がり、最初の信号のある交差点（「菊里高校前」）を渡った直後に左折。道なりに進むと右手に本学の正門アーチが見えます。詳細は本学ウェブサイトのページをご覧ください。

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/access/index.html#hdgLg2>

受付：正門アーチをくぐり直進し、右前方にある情報社会学部メディア棟地上階ロビーで行ってください。詳細は本学ウェブサイトのDの建物です。

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/campus/map/hoshigaoka.html>

○ 受付

受付時間は12:20～12:50です。余裕を持って早めにご来学ください。

出場予定者および観覧者が全員そろってから出場手続をしてください。代表者は本メールが表示されたスマートフォン画面を受付係にご提示ください。その後、代表者を含む出場予定者は1人ずつ生徒手帳をご提示ください。観覧者はご芳名を口頭でお伝えください。

【注意】

- 代表者が本メールを提示できない場合、その組は失格とさせていただきます。代表者を含む出場予定者が生徒手帳を提示できない場合、本人確認ができる他の書類等を提示すれば出場を認めますが、それもできなければ、当該出場予定者のみ失格とし、それ以外の出場予定者の出場は認めます。
 - 代表者が13:00までに出場手続できない場合、その組は失格とさせていただきます。ただし、やむを得ない事由（例：列車遅延）があった場合、それを証明できる書類等をお示しいただければ、出場を認めます。この場合、速やかに下記連絡先までメールをお願いします。
 - 2名以上の組で、代表者以外の出場予定者が13:00までに到着できない場合、当該出場予定者のみ失格とし、それ以外の出場予定者の出場を認めます。出場予定者の追加は認めません。
 - 代表者を他の出場予定者と交代させる場合は、12/19（木）までに下記連絡先へメールでお知らせください。それ以降は理由にかかわらず認めません。
- 万一、出場予定者あるいは組全体が棄権される場合は、下記連絡先までメールをお願いします。

○ スケジュール

当日の進行状況により、時間が前後する場合がありますのでご了承ください。

1. 予選 (13:00~15:20 各会場)

各部屋に分かれて 13:00~15:20 の間に行われます。途中で 10 分間の休憩があります。

発表順は当日配付するプログラムをご確認ください。

審査委員による審査の結果、各会場の 1 位 1 組が決勝戦に進出します。各会場 1 位通過の組の発表は、安藤優子客員教授の講演終了後に発表します。

審査委員には、当初公表した 4 名に加え、下記の 8 名が加わります。

- ・ 笠原正秀 (椋山女学園大学外国語学部教授)
- ・ 水島和則 (椋山女学園大学外国語学部教授)
- ・ クアシャ、スティーブン・エリック (椋山女学園大学現代マネジメント学部准教授)
- ・ ハンソン-リン、サラ (椋山女学園大学外国語学部准教授)
- ・ ペトルシャック、ウィリアム (椋山女学園大学情報社会学部准教授)
- ・ マローニ、イアン (椋山女学園大学外国語学部准教授)
- ・ モリシュ、ジェイミー (椋山女学園大学外国語学部准教授)
- ・ 田村理 (椋山女学園大学外国語学部講師)

2. 講演その他 (15:30~17:00 メディア棟 001 教室) …出場者にお飲み物と軽食をご提供します。

- ・ 藤岡阿由未学部長よりご挨拶
- ・ 本学部教員マイケル・アレン・ストックウェル准教授と本学部学生による英語での対談
- ・ 安藤優子客員教授による講演
- ・ 決勝進出の組を発表

自由席。※貴重品の管理は各自でお願いします。

3. 決勝、講評、表彰 (17:10~18:10)

決勝戦では、予選と同じ原稿の音読発表を再度行ってください。審査委員による厳正な審査の結果、優勝組、準優勝組、特別賞受賞組、入賞組を発表します。

○ 採点基準

採点基準は下記の通りです。各会場の審査員の評価を合計して順位を決定します。

- 1 スピーチのメッセージを深く理解し説得力のある伝え方ができているか。
- 2 スピーチを通して聴衆とコミュニケーションがとれているか。
- 3 声の大きさ、読む速さ、イントネーションが適切かどうか。

発表時間の上限の 8 分を越えた時点で、途中でも終了とさせていただきます。

※英語はアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアをはじめ複数の諸国で公用語として使用されており、標準語は存在しませんので、**発音は採点対象には含めません。**

※得点の問合せには応じませんのでご理解をお願いします。

○ 連絡先

椋山女学園大学英語表現音読コンテスト実行委員会：ondoku@sugiyama-u.ac.jp